項目	課題	取り組み案
介護予防リーダー	・高齢化による地域介護予防教室の担い手の不足	・他自治体の視察(町田市、相模原市など)
	・リーダー交代の仕組みづくり	・令和5年度実施のリーダー養成講座周知の工夫
		・令和6年度に向けたリーダー養成講座の内容検討
		・(仮称) 元気アップ体操サポーターの検討
体操の普及	・地域介護予防教室の飽和、場所の確保	・ベルブホール等における定期的な体操教室の実施。また、近所 de
	・健康二次被害の防止	元気アップトレーニング(近トレ)のプレゼンも合わせて実施し、近トレの立
	・高齢者人口増に向けた通いの場の確保	ち上げにつなげる。
		・民間事業者と連携した場の確保の検討
うんどう教室	・高齢化による指導員の不足	・指導員養成講座(補充)の実施
	・参加者の固定化	・うんどう教室、指導員養成講座の周知方法の工夫
MCI (軽度認知障害) に	・軽度認知症の高齢者が通える場が少ない。	・MCI に特化したプログラムの実施、MCI に特化した住民主体の立ち上げを
特化した取り組み		検討し、9期計画に盛り込む
		・認知症があってもなくてもほっとできる通いの場(認通)の継続、拡大
デジタルデバイド対策	・スマホを活用しきれていないため、情報入手できな	・コミセンにおけるスマホ相談会の実施
	い高齢者がいる。	・公民館、二幸産業・NSP健幸福祉プラザ等におけるスマホ教室等の実施の継
		続
住民主体による訪問型	・支援内容、利用回数	・支援内容の変更、利用回数の緩和、対象者の弾力化、事業者への支払い方法
サービスの見直し	・事業者の事務負担が大きい。	の変更などについて、見直しの方向性を決定し、9期計画に盛り込む
通所型短期集中予防サ	・利用者は増加しているものの、場所によってばらつ	・現状・課題を整理した上で、元気塾と地域包括支援センターで共有する
ービス(元気塾)の課題	きがある(コロナ禍で定員を減らしたが、満員になっ	・元気塾を活用した新たな取り組みの検討
整理	ている場所もある)。	
TAMA フレイル予防プ	・健康二次被害の予防	・大規模 TFPP の実施(4 回)の際に、保険年金課と連携し、周辺地域に通知
ロジェクト (TFPP)	・行動変容の意識づけ	を出し周知を図る。
の実施の工夫		・まるっと協議体の参加企業との連携の工夫
地域リハ及びTFPP	・現在の地域リハの支援内容は体操メニューが多く、	・地域リハ活動のリハ職派遣メニューに幅広い年代の方が楽しむことができる
の支援メニューの充実	体操に興味がない市民に外出を促すことが難しい。	ゲーム(ボッチャ等)を追加する
	・TFPPでのメニューについて、認知機能や身体機	・大規模 TFPP におけるボッチャの実施や、他のメニューについて庁内関係課
	能にチェックがついた方へおすすめできるものが現	と相談・検討を行う
	在 1 種類ずつ(脳トレ/元気アップ体操)のみとなっ	
	ている。	